

厚生年金保険給付積立金の基本ポートフォリオについて

1. 概要

- 公的年金の令和元年財政検証において、厚生年金保険事業を長期的・安定的に運営していくために求められる積立金の長期の名目運用利回り（ケースⅢ）は4.0%（名目賃金上昇率2.3%+スプレッド1.7%）とされました。
- これを踏まえ、管理運用主体（GPIF、国共済連合会、地共済連合会、私学事業団）は、それぞれの基本ポートフォリオを定めるに当たって参酌すべき資産の構成の目標（モデルポートフォリオ）を共同で変更しました。
- この変更を受け私学事業団は、厚生年金保険法に基づき、モデルポートフォリオに即して以下のとおり基本ポートフォリオを変更しました。なお、許容乖離幅については、時価のブレ幅として許容できる範囲をいわゆる標準偏差に基づき設定しました。

【令和元年度まで（旧）】

資産区分	国内債券	国内株式	外国債券	外国株式
資産配分割合	35%	25%	15%	25%
許容乖離幅	±10%	±9%	±4%	±8%

【令和2年度から（新）】（下線部分が変更箇所）

資産区分	国内債券	国内株式	外国債券	外国株式
資産配分割合	<u>25%</u>	25%	<u>25%</u>	25%
許容乖離幅	±10%	<u>±8%</u>	<u>±6%</u>	<u>±7%</u>

2. （新）資産配分割合の設定に係る諸前提等

- 目標リターンの設定
 - 実質的な運用利回り 1.7%
（注）実質的な運用利回りとは、名目運用利回りのうち名目賃金上昇率を上回る部分の利回りを意味します。

■ 期待収益率の設定

資産区分	国内債券	国内株式	外国債券	外国株式	賃金上昇率
期待収益率	0.7%	5.6%	2.6%	7.2%	2.3%

■ リスク、相関係数の設定

資産区分	国内債券	国内株式	外国債券	外国株式	賃金上昇率
リスク	2.56%	23.14%	11.87%	24.85%	1.62%
相 関 係 数	国内債券	1.000			
	国内株式	-0.158	1.000		
	外国債券	0.290	0.060	1.000	
	外国株式	0.105	0.643	0.585	1.000
	賃金上昇率	0.042	0.113	-0.010	0.099

■ リスク指標

- 下方確率（運用利回りが名目賃金上昇率を下回る確率）が、全額を国内債券で運用した場合より低いこと。
- 条件付平均不足率（運用利回りが名目賃金上昇率を下回るリスク）が最小となること。

3. （新）資産配分割合の設定等

■ 諸前提に基づく最適な資産配分割合とその特性値

【資産配分割合】

資産区分	国内債券	国内株式	外国債券	外国株式
資産配分割合	26.1%	23.0%	24.7%	26.2%

【特性値】

	期待リターン	下方確率		条件付平均不足率	
		対賃金	対物価	対賃金	対物価
特性値	4.000%	44.45%	41.04%	-9.12%	-8.91%

■ （新）資産配分割合の設定

- 上記の結果を踏まえ、わかりやすさの観点から5%刻みにしたものを新しい資産配分割合として設定しました。

【資産配分割合】

資産区分	国内債券	国内株式	外国債券	外国株式
資産配分割合	25%	25%	25%	25%

【特性値】

	期待リターン	下方確率		条件付平均不足率	
		対賃金	対物価	対賃金	対物価
特性値	4.025%	44.41%	41.03%	-9.18%	-8.98%